

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2018-19791 (P2018-19791A)
 【公開日】平成 30 年 2 月 8 日 (2018.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-005
 【出願番号】特願 2016-151548 (P2016-151548)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 7 月 31 日 (2019.7.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御手段からのコマンドに従って演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、

前記演出制御手段は、演出データ基板と、映像信号作成基板と、映像信号出力基板と、を少なくとも含み、

前記演出データ基板と前記映像信号作成基板は、第 1 のコネクタにより電氣的に接続され、

前記映像信号作成基板と前記映像信号出力基板は、前記第 1 のコネクタと異なる第 2 のコネクタにより電氣的に接続され、前記第 2 のコネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタであり、

前記演出データ基板は遊技演出の映像に関するデータを記憶した R O M を備え、

前記映像信号作成基板は前記第 1 のコネクタを通じて前記演出データ基板の前記データから映像信号を作成すると共に、前記映像信号を複数種類の方式で前記第 2 のコネクタを通じて前記映像信号出力基板へ出力し、

前記映像信号出力基板は、前記複数種類の方式の前記映像信号の中から、表示装置に入力されるべき映像信号の方式と一致する信号を前記表示装置へ出力する

ことを特徴とした遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

従来より、図柄、各種背景画像、文字、キャラクタなどの画像データが記憶される R O M、種々の画像を表示する表示装置を制御する C P U 等が実装される演出制御基板等を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2016-116667号公報(図2)

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、表示装置に入力される映像信号の方式には複数種類のものがある。このため、特許文献1に記載される遊技機においては、表示装置に入力される映像信号に合わせて演出制御基板を改変して製造する必要がある、演出制御基板のコストを抑制することが困難であった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、演出制御手段のコストを抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(解決手段1)

遊技の進行を制御する主制御手段からのコマンドに従って演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、前記演出制御手段は、演出データ基板と、映像信号作成基板と、映像信号出力基板と、を少なくとも含み、前記演出データ基板と前記映像信号作成基板は、第1のコネクタにより電氣的に接続され、前記映像信号作成基板と前記映像信号出力基板は、前記第1のコネクタと異なる第2のコネクタにより電氣的に接続され、前記第2のコネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタであり、前記演出データ基板は遊技演出の映像に関するデータを記憶したROMを備え、前記映像信号作成基板は前記第1のコネクタを通じて前記演出データ基板の前記データから映像信号を作成すると共に、前記映像信号を複数種類の方式で前記第2のコネクタを通じて前記映像信号出力基板へ出力し、前記映像信号出力基板は、前記複数種類の方式の前記映像信号の中から、表示装置に入力されるべき映像信号の方式と一致する信号を前記表示装置へ出力することを特徴とした遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 1 6】

本発明の遊技機においては、演出制御手段のコストを抑制することができる。